

平成28年度京都府理学療法士会 総会議事録要約

日時：平成29年4月9日（日）15：00－17：00

場所：京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻

杉浦地域医療研究センター2階 杉浦ホール

議長：並河会長

書記：大島洋平（京都大学医学部附属病院）

平成28年度士会会長賞の表彰

表彰審査委員長 麻田理事

本年度対象5名：窓場勝之氏，藤田加奈子氏，木村知哉氏，小林寛昭氏，清水真弓氏

定足数の確認

総会員数 2296名（平成29年3月15日現在）

出席者 41名，委任状 1493名，計1534名（総会の成立の必要数を満たす）

議長の成立宣言により議事に入る。

第一号議案 平成28年度事業総括報告

並河会長

- ・平成28年度事業は概ね予定通りに実施された。
- ・事務局について，総務部では事務員2名体制となった。広報部では士会ホームページのリニューアルを行った。
- ・学術局では多くの研修会・講習会を行い，ほとんどの事業は無料で行い，多くの参加者を集めた。京都学会でも336名と例年より参加者が増加した。
- ・社会局について，保険部では診療報酬改訂などに関する研修会を実施し，業務推進部はネットワーク別に活動した。
- ・災害対策委員会に関しては，研修会開催やJIMTEF コースへの派遣などを行った。
- ・認知症対策委員会における活動について，今年度は十分できなかったため，来年度は北部を中心として活動する予定である。
- ・今後の士会の課題として，士会の活動を担う新たな人材の育成が必要と考える。

第二号議案 平成28年度決算報告

荻谷財務担当理事

第三号議案 平成28年度監査報告

伊藤監事

1. 平成28年度の事業は，完了したものと認めます。

2. 決算報告書、会計に関わる帳簿、領収書等すべて正確かつ適正に処理されていました。
3. 事業の実施については、活動報告、議事録等により正確に記録、報告されていました。
4. 会費の徴収については、未納者が多いことや、クレジットの加入率が低いことを踏まえ、より一層の啓発をお願いします。
5. ホームページや広報誌など効果的な広報のあり方についてもより一層の充実が図れるよう努めて下さい。
6. 今後も事業の拡大、会員増に伴う事務作業の増大が見込まれることから、簡略化、経費節減はもとより、事務員の処遇の見直し、事務局と部会の業務の整理、マニュアルの作成を含めた事務所機能の拡充を引き続き検討して頂くことをお願いします。

【質疑】

(質問) 今年度の事業報告について、京都府リハビリテーション三療法士会協議会に関する活動がみえないが、どうなっているのか？(京都府リハビリテーション支援センター 山元 PT)

(回答) 三療法士会については現在調整過程であり、今後動いていく予定。(並河会長)

(質問) 三役会の位置づけとは？三役会で諸事項を決定しているのか？(京都府リハビリテーション支援センター 山元 PT)

(回答) 三役会は理事会開催より前に行われており、理事会での報告・審議事項を調整する役割をしている。あくまでも事項の決定は理事会で行っており、三役会で決定しているわけではない。(並河会長)

(質問) 地域包括ケア推進部での人材養成の報告もあったが、「シルバーリハビリ体操」についてはどのようになっているか？(京都府リハビリテーション支援センター 山元 PT)

(回答) まだこれから検討する段階である。(並河会長)

(質問) 大規模災害時の対策について、もし京都府で災害が生じた場合には具体的にどのように対応するのか、理事会ではどのように話し合っているのか？(京都府リハビリテーション支援センター 山元 PT)

(回答) 理事会で対策を考えているが、まだ具体的な案はできていないため、次年度の課題としたい。(並河会長)

【第一、二、三号議案について、挙手にて承認】

第四号議案 平成29年度事業計画案

依岡事務局長、布川社会局長、市橋学術局長より事業計画案の概要説明

第五号議案 平成29年度予算案

荻谷財務担当理事

- ・協会助成金は一律150万円＋会員数×100円となった。
- ・平成29年度予算は前年度より623,778円増の27,499,383円。

【質疑】

(質問) 会費納入証明のシールは今年度は郵送されないのか？(むかいじま病院, 岩城 PT)

(回答) 今年度から郵送されない(荻谷財務部担当理事)

(質問) 補助金により研修会などが開催されていることを会員が把握できているか？今後、士会の活動を会員に周知していくためにも、総会への出席を会員に促す必要があるのではないか？(むかいじま病院, 岩城 PT)

(回答) 最初はアナウンスしていたが、最近は通知できていなかったもので、また何らかの形で広報する。(市橋学術局長) どの士会でも総会への会員の出席は少なく苦勞している。会員の認識を高めるよう努力していく。(並河会長)

(質問) 就業フェアと保険部の研修会の日程が重なっているが理事会で日程調整の工夫を検討してほしい。(京都府リハビリテーション支援センター 山元 PT)

(回答) 研修会やイベントが重複しないように日程調整は行っているが、今回は重複してしまった。(依岡事務局長) 就業フェアと重なって申し訳なかった。(中本保険部担当理事)

【第四, 五号議案について, 挙手にて承認】

第六号議案 選挙管理委員選出

拍手による承認により, 下記3名が選挙管理委員として選出された。

山元顕太氏, 中川朋子氏, 岡徹氏

第七号議案 定款の改定

諸団体との協力のもと行う事業の増加に伴い, 諸会議・諸委員会への出席の機会が増加しており, 役職理事を派遣する機会が多くなった。また, 各種事業の増加に伴い, 各事業を担当する理事の人数が不足してきており, 今後の事業展開を考えると理事の定員を増やすことが必要になったため, 以下の変更を提案する

定款 第18条 (副会長及び理事の人数)

(1) 会長: 1名

副会長: 2名→3名

理事：10名以上15名以内→13名以上18名以内（会長，副会長含む）

監事：2名

（2）理事のうち1名を代表理事とする

（3）代表理事を会長とし，理事のうち2名→3名を副会長とする

（質問）会員数に対して副会長や理事の数は妥当か？（むかいじま病院，岩城 PT）

（回答）理事会で議論して副会長は3名で決定した．副会長5名という他団体もあるが，実際は3～4名で動いているのが現状のようであり，副会長3名は妥当な数だと考えている（並河会長）

（質問）会員数増加や対外業務の増加などを考えれば人数は妥当と考えるが，定款の変更について士会の定款に記載がないことは問題ではないか？（伊藤監事）

（回答）士会の定款は一般社団法人のモデル定款をもとに作成し，公証役場に何回も相談しながら作成している（依岡副会長）現状の定款の内容では，この総会で承認を得て定款を変更するしかない．（市橋副会長）士会の定款は公証役場で認証されたものである．さらに定款の見直しが必要かどうかは理事会で検討したい．（並河会長）

（意見）監事の指摘事項であるため議事録にしっかり記載していただきたい．（むかいじま病院，岩城 PT）

【第七号議案について，挙手にて承認決議】